

E. coli由来のβ-ガラクトシダーゼ、組換え (EIAグレード)

Cat. No. NATE-0986

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	β-ガラクトシダーゼ (ベータガルまたはβ-galとも呼ばれる) は、β-ガラクトシドを単糖に加水分解する加水分解酵素です。さまざまなβ-ガラクトシダーゼの基質には、ガングリオシド GM1、ラクトシルセラミド、乳糖、およびさまざまな糖タンパク質が含まれます。
用途	抗体および抗原酵素コンジュゲートの製造のためのマーカー酵素で、比色法および蛍光法による測定のための免疫測定に組み込まれています。
別名	β-ガラクトシダーゼ; ベータガル; β-ガル; ラクターゼ; β-ラクタシダーゼ; マキシラクタ; ハイドロラクタ; β-D-ラクタシダーゼ; トリラクターゼ; β-D-ガラクトナーゼ; β-D-ガラクトシドガラクトヒドロラーゼ; β-ガラクトシダーゼ EIA グレード

製品情報

由来	E. coli
外形	白色の凍結乾燥物、リン酸緩衝液とスクロースで安定化されています。
CAS登録番号	9031-11-2
分子量	465 kDa
活性	> 700 U/mg タンパク質
等電点	4.61
pH安定性	6
最適pH	8
熱安定性	+37°Cまで
ミカエリス定数	トリスバッファー、pH 7.6、+20°C / 関係率: 2-ニトロフェニル-β-ガラクトシド: 9.50×10^{-4} mol/l / 1.00 フェニル-β-D-ガラクトシド: 3.23×10^{-3} mol/l / 0.05 ラクトース: 3.85×10^{-2} mol/l / 0.06 4-ニトロフェニル-β-ガラクトシド: 4.45×10^{-4} mol/l / ~0.50
構造	4つの同一のサブユニットを持つβ-ガラクトシダーゼは、炭水化物を含んでいません。
活性化因子	Mg ²⁺ および Na ⁺ (または他の一価カチオン) は、活性に不可欠です。

保管・発送情報

安定性	-15から-25°Cの範囲内で、仕方に従って24ヶ月間保存してください。窒素下で保管してください。
-----	---